



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月2日

上場会社名 グンゼ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3002 URL <https://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐口 敏康

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 中嶋 順子

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	65,153	3.3	3,230	15.1	3,280	6.3	2,657	20.4
2023年3月期第2四半期	67,350	13.4	2,806	16.0	3,087	18.1	2,206	55.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,143百万円 (9.4%) 2023年3月期第2四半期 4,703百万円 (0.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	155.85	155.49
2023年3月期第2四半期	127.68	127.38

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	164,745	120,353	71.9	6,936.93
2023年3月期	165,927	117,691	69.8	6,789.78

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 118,386百万円 2023年3月期 115,757百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				147.00	147.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	2.9	7,500	29.0	7,500	24.6	4,800	6.6	281.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	17,293,516 株	2023年3月期	17,293,516 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	227,434 株	2023年3月期	244,692 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	17,053,657 株	2023年3月期2Q	17,280,751 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11
3. 四半期決算補足説明資料	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

(当四半期の経営成績)

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う行動制限の緩和等により、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられました。一方で、国内外の金融政策の違いに伴う円安進行や海外経済の減速懸念、地政学的問題を背景とした原材料・エネルギー価格の高騰に伴う物価上昇が続き、先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、中期経営計画「VISION 2030 stage1」の2年目にあたり、引き続き「新たな価値の創出」「資本コスト重視の経営」「企業体質の進化」「環境に配慮した経営」の4つの基本戦略への取り組みを進めました。

各事業の概況としては、機能ソリューション事業は、物価上昇によるフィルム需要の減速や、原燃料高の影響を受けました。メディカル事業は、生体吸収性の新製品販売および中国における拡販が順調に進みましたが、医療用レーザーの販売が低迷しました。アパレル事業は、販売回復が進む中で、商品の高付加価値化を含めた価格改定が進み収益性が改善しました。また、ライフクリエイティブ事業は、行動制限の解除により順調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は65,153百万円(前年同期比3.3%減)、営業利益は3,230百万円(前年同期比15.1%増)、経常利益は3,280百万円(前年同期比6.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,657百万円(前年同期比20.4%増)となりました。

(セグメント別の概況)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### <機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、米国の包装用フィルムが堅調に推移しましたが、国内・アジアでは需要停滞の影響を受けました。エンジニアリングプラスチック分野は、OA機器向けが停滞も、半導体及び一般産業向けが堅調に推移しました。電子部品分野は、中国向けタッチパネルが市況低迷の影響を受けました。

以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は24,251百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は2,937百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

#### <メディカル事業>

メディカル事業は、新製品の癒着防止材や、中国向け製品は好調に推移しましたが、コロナ後の美容医療機関の開院減少や設備投資抑制などにより、医療用レーザーの受注が減少しました。

以上の結果、メディカル事業の売上高は5,492百万円(前年同期比2.5%減)、営業利益は907百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

#### <アパレル事業>

アパレル事業全体では、強化を進めるEC・直営店ルートが伸長しましたが、量販店ルートが苦戦したほか、記録的な残暑による秋冬商品展開遅れの影響を受けました。引き続きDtoCシフトによる成長戦略と価格改定による利益改善に取り組めます。インナーウェア分野では、顧客ニーズに対応した付加価値商品が好調に推移しました。レッグウェア分野は、収益性の改善に向けた構造改革を継続的に進めております。

以上の結果、アパレル事業の売上高は29,373百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は775百万円(前年同期比305.9%増)となりました。

### <ライフクリエイト事業>

不動産関連分野は、前期の遊休地再開発プロジェクトによる売上計上により減収となりました。行動制限の解除により、ショッピングセンター事業とスポーツクラブ分野は、ともに回復傾向にあります。

以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は6,428百万円（前年同期比10.4%減）、営業利益は297百万円（前年同期比49.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、164,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,181百万円減少しました。主な増加要因は、商品及び製品の増加2,142百万円であり、主な減少要因は、政策保有株式の売却等による投資有価証券の減少2,047百万円、流動資産その他の減少1,914百万円(未収入金等)であります。

負債は、44,392百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,843百万円減少しました。主な減少要因はコマーシャル・ペーパーを含む長短借入金の減少1,698百万円、流動負債その他の減少1,773百万円(未払金等)、支払手形及び買掛金の減少1,221百万円であります。

純資産は、120,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,662百万円増加しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加2,657百万円、為替換算調整勘定の増加1,470百万円であり、主な減少要因は、配当による減少2,505百万円であります。

### (キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ660百万円減少し、10,886百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して5,600百万円増加し3,552百万円の収入となりました。主なキャッシュ・インの要因は、税金等調整前四半期純利益3,865百万円、減価償却費3,018万円、法人税等の還付額1,225百万円であり、主なキャッシュ・アウトの要因は、棚卸資産の増加1,928百万円、仕入債務の減少1,486百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して2,612百万円増加し63百万円の支出となりました。主なキャッシュ・インの要因は、投資有価証券の売却による収入4,549百万円であり、主なキャッシュ・アウトの要因は、固定資産の取得による支出3,626百万円、投資有価証券の取得による支出980百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して4,462百万円減少し4,822百万円の支出となりました。主なキャッシュ・アウトの要因は、配当金の支払い2,495百万円、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの減少1,877百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が概ね想定の範囲内で推移していることから、2023年5月12日に公表した通期業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,547	10,886
受取手形、売掛金及び契約資産	27,129	27,807
商品及び製品	24,114	26,257
仕掛品	7,128	8,021
原材料及び貯蔵品	7,054	6,540
その他	6,622	4,708
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	83,580	84,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,657	36,258
機械装置及び運搬具（純額）	10,398	10,447
土地	10,446	10,489
その他（純額）	5,614	6,018
有形固定資産合計	63,117	63,213
無形固定資産	1,446	1,600
投資その他の資産		
投資有価証券	11,698	9,650
その他	6,151	6,144
貸倒引当金	△67	△66
投資その他の資産合計	17,782	15,727
固定資産合計	82,346	80,541
資産合計	165,927	164,745

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,010	8,788
短期借入金	6,077	1,226
コマーシャル・ペーパー	-	3,500
1年内返済予定の長期借入金	438	471
未払法人税等	263	1,123
賞与引当金	1,353	1,383
その他	11,907	10,134
流動負債合計	30,052	26,627
固定負債		
長期借入金	8,638	8,258
退職給付に係る負債	4,494	4,618
長期預り敷金保証金	4,220	4,082
その他	830	805
固定負債合計	18,183	17,764
負債合計	48,235	44,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,566	6,568
利益剰余金	78,972	79,124
自己株式	△1,044	△970
株主資本合計	110,566	110,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,464	3,060
繰延ヘッジ損益	△144	166
土地再評価差額金	△13	△13
為替換算調整勘定	2,941	4,411
退職給付に係る調整累計額	△56	△33
その他の包括利益累計額合計	5,191	7,592
新株予約権	124	124
非支配株主持分	1,808	1,842
純資産合計	117,691	120,353
負債純資産合計	165,927	164,745

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	67,350	65,153
売上原価	47,336	44,640
売上総利益	20,013	20,513
販売費及び一般管理費	17,206	17,283
営業利益	2,806	3,230
営業外収益		
受取利息	22	41
受取配当金	268	251
固定資産賃貸料	215	227
為替差益	170	22
その他	154	78
営業外収益合計	831	621
営業外費用		
支払利息	80	155
固定資産賃貸費用	208	219
その他	262	195
営業外費用合計	551	571
経常利益	3,087	3,280
特別利益		
固定資産売却益	352	7
投資有価証券売却益	0	700
その他	7	-
特別利益合計	359	707
特別損失		
固定資産除売却損	135	122
出資金売却損	40	-
新型コロナウイルス感染症による損失	115	-
その他	11	-
特別損失合計	301	122
税金等調整前四半期純利益	3,145	3,865
法人税等	914	1,196
四半期純利益	2,231	2,669
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,206	2,657

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,231	2,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147	595
繰延ヘッジ損益	109	311
為替換算調整勘定	2,211	1,543
退職給付に係る調整額	4	23
その他の包括利益合計	2,472	2,473
四半期包括利益	4,703	5,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,518	5,058
非支配株主に係る四半期包括利益	185	84

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,145	3,865
減価償却費	2,895	3,018
のれん償却額	66	37
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△499	△172
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23	23
受取利息及び受取配当金	△291	△293
支払利息	80	155
為替差損益(△は益)	3	6
固定資産除売却損益(△は益)	△217	115
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△0	△700
新型コロナウイルス感染症による損失	115	-
その他の損益(△は益)	△6	△6
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△1,683	△266
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,124	△1,928
その他の流動資産の増減額(△は増加)	65	611
仕入債務の増減額(△は減少)	△799	△1,486
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△127	△194
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△664	△546
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△65	△3
小計	△136	2,234
利息及び配当金の受取額	282	285
利息の支払額	△99	△193
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	△96	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,998	1,225
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,048</b>	<b>3,552</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△2,311	△3,626
固定資産の売却による収入	553	25
固定資産の除却による支出	△121	△98
投資有価証券の取得による支出	△1,525	△980
投資有価証券の売却による収入	619	4,549
貸付金の増減額(△は増加)	△0	△18
その他	109	85
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,676</b>	<b>△63</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	2,489	△1,877
長期借入金の返済による支出	△438	△456
自己株式の取得による支出	△1	△2
自己株式の売却による収入	71	78
配当金の支払額	△2,406	△2,495
非支配株主への配当金の支払額	△65	△50
その他	△8	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△360	△4,822
現金及び現金同等物に係る換算差額	443	672
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,641	△660
現金及び現金同等物の期首残高	14,469	11,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,828	10,886

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	機能ソリュ ーション 事業	メディカル 事業	アパレル 事業	ライフ クリエイト 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,588	5,629	29,998	7,133	67,350	—	67,350
セグメント間の内部 売上高又は振替高	248	1	83	38	372	△372	—
計	24,836	5,631	30,082	7,172	67,722	△372	67,350
セグメント利益	3,114	1,078	190	198	4,582	△1,775	2,806

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,775百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	機能ソリュ ーション 事業	メディカル 事業	アパレル 事業	ライフ クリエイト 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,968	5,491	29,294	6,398	65,153	—	65,153
セグメント間の内部 売上高又は振替高	283	0	78	30	392	△392	—
計	24,251	5,492	29,373	6,428	65,546	△392	65,153
セグメント利益	2,937	907	775	297	4,918	△1,687	3,230

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,687百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、現在推進中の中期経営計画「VISION 2030 stage1」における成長牽引役としてのメディカル事業の位置づけを明確にするため、これまで機能ソリューションセグメントに含まれていたメディカル事業を「メディカル」セグメントとして新たに区分しております。この結果、「機能ソリューション」、「メディカル」、「アパレル」、「ライフクリエイト」を報告セグメントとしております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成してあります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 四半期決算補足説明資料

①当第2四半期(6ヶ月間)の業績等

(単位:百万円)

	当期 ( '23年4-9月)	前年同期 ( '22年4-9月)	増減 上段( )は 増減率	<業績概要> ・機能ソリューション事業は、物価上昇によるフィルム需要の減速や、原燃料高の影響を受けた ・メディカル事業は、生体吸収性の新製品販売および中国における拡販が順調に進んだが、医療用レーザーの販売が低迷した ・アパレル事業は、販売回復が進む中で、商品の高付加価値化を含めた価格改定が進み収益性が改善した ・ライフクリエイト事業は、行動制限の解除により順調に推移した  <主たる特別損益> ・投資有価証券売却益 7億円  <通期予想> ・当第2四半期連結累計期間の業績が概ね想定範囲内で推移していることから、既公表の業績予想から変更していない ・年間配当は1株あたり150円を予定(前期147円)
売上高	65,153	67,350	(△3.3) △2,196	
営業利益	3,230	2,806	(15.1) 423	
経常利益	3,280	3,087	(6.3) 193	
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,657	2,206	(20.4) 451	
金融収支 (受取利息・配当)	137	210	△72	
(支払利息)	△155	△80	(2) (△75)	
設備投資	1,765	3,326	△1,561	
減価償却	3,056	2,962	94	
	当期 ( '23年9月)	前期 ( '23年3月)	増減 上段( )は 増減率	
総資産	164,745	165,927	(△0.7) △1,181	
棚卸資産	40,818	38,927	(4.9) 2,521	
固定資産	80,541	82,346	(△2.2) △1,804	
純資産	120,353	117,691	(2.3) 2,662	

【自己株式の取得等の状況】

取得した自己株式	0 千株	2 百万円
処分した自己株式	17 "	76 "
前期末に保有していた自己株式	244 "	1,044 "
当期末に保有している自己株式	227 "	970 "

②事業のセグメント別業績

(単位:百万円)

		当期		前期		増減	
		金額	ウェイト	金額	ウェイト	金額	増減率
売上高	機能ソリューション	24,251	37.0	24,836	36.7	△584	△2.4
	メディカル	5,492	8.4	5,631	8.3	△138	△2.5
	アパレル	29,373	44.8	30,082	44.4	△709	△2.4
	ライフクリエイト	6,428	9.8	7,172	10.6	△743	△10.4
	小計	65,546	100.0	67,722	100.0	△2,175	△3.2
	消去	△392		△372		△20	-
	連結合計	65,153		67,350		△2,196	△3.3
営業利益	機能ソリューション	2,937	59.7	3,114	68.0	△176	△5.7
	メディカル	907	18.5	1,078	23.5	△170	△15.8
	アパレル	775	15.8	190	4.1	584	305.9
	ライフクリエイト	297	6.0	198	4.4	98	49.4
	小計	4,918	100.0	4,582	100.0	335	7.3
	消去	△1,687		△1,775		87	-
	連結合計	3,230		2,806		423	15.1

③主要経営指標

項目	当期	前年同期	増減	項目	当期	前年同期	増減		
総資産営業利益率	%	2.0	1.7	0.3	自己資本比率	%	71.9	70.1	1.8
総資産経常利益率	%	2.0	1.9	0.1	自己資本四半期純利益率	%	2.3	1.9	0.4
売上高営業利益率	%	5.0	4.2	0.8	1株当たり四半期純利益	円	155.85	127.68	28.17
売上高経常利益率	%	5.0	4.6	0.4	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	円	155.49	127.38	28.11
				1株当たり純資産	円	6,936.93	6,654.01	282.92	

④キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

活動区分	当期	前年同期	増減	当期の主たる内訳
営業活動によるCF	3,552	△2,048	5,600	税金等調整前四半期純利益3,865、減価償却費3,018、法人税等の還付1,225、棚卸資産の増加△1,928、仕入債務の減少△1,486
投資活動によるCF	△63	△2,676	2,612	投資有価証券の売却4,549、固定資産の取得△3,626、投資有価証券の取得△980
財務活動によるCF	△4,822	△360	△4,462	配当金の支払い△2,495、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの減少△1,877
換算差額	672	443	229	
現金及び現金同等物の増減額	△660	△4,641	3,980	
現金及び現金同等物の期末残高	10,886	9,828	1,058	

⑤事業部門の設備投資及び減価償却額

(単位：百万円)

		当期年間計画			前年同期		対前期増減
		金額	ウェイト	2Q累計実績	金額	ウェイト	
設備投資 ※無形固定資産を含む	機能ソリューション	5,400	49.1	753	4,816	50.1	584
	メディカル	1,000	9.1	107	553	5.8	447
	アパレル	2,100	19.1	433	1,493	15.6	607
	ライフクリエイト	1,700	15.5	314	2,053	21.4	△353
	全社	800	7.2	158	680	7.1	120
	合計	11,000	100.0	1,765	9,597	100.0	1,403
減価償却費 ※のれん償却額を含む	機能ソリューション	2,600	40.0	1,203	2,423	41.2	177
	メディカル	500	7.7	201	371	6.3	129
	アパレル	1,400	21.5	646	1,250	21.2	150
	ライフクリエイト	1,500	23.1	673	1,370	23.2	130
	全社	500	15.4	333	478	8.1	22
	合計	6,500	100.0	3,056	5,894	100.0	606

【当期の主要投資計画】

- ・プラスチックフィルム資源循環型工場・生産設備 3,000百万円
- ・メディカル工場増床・生産設備自動化 300百万円
- ・アパレルSCMシステム刷新 600百万円
- ・商業施設リニューアル改装 600百万円

⑥通期業績予想

(単位：百万円)

	当期予想	前年同期	増減	
			金額	増減率
売上高	140,000	136,030	3,970	2.9
営業利益	7,500	5,812	1,688	29.0
経常利益	7,500	6,021	1,479	24.6
親会社株主に帰属する当期純利益	4,800	4,501	299	6.6

⑦セグメント別 通期業績予想

(単位：百万円)

		当期予想		前年同期		増減	
		金額	ウェイト	金額	ウェイト	金額	増減率
売上高	機能ソリューション	51,800	36.8	49,555	36.2	2,245	4.5
	メディカル	12,000	8.5	10,957	8.0	1,043	9.5
	アパレル	63,300	44.9	60,986	44.6	2,314	3.8
	ライフクリエイト	13,800	9.8	15,327	11.2	△1,527	△10.0
	小計	140,900	100.0	136,827	100.0	4,073	3.0
	消去	△900		△797		△103	-
	連結合計	140,000		136,030		3,970	2.9
営業利益	機能ソリューション	7,100	61.2	6,835	72.8	265	3.9
	メディカル	2,300	19.8	2,082	22.1	218	10.5
	アパレル	1,400	12.1	△222	△2.4	1,622	-
	ライフクリエイト	800	6.9	705	7.5	95	13.5
	小計	11,600	100.0	9,401	100.0	2,199	23.4
	消去	△4,100		△3,588		△512	-
	連結合計	7,500		5,812		1,688	29.0

※2023年5月12日に公表した通期業績予想からの変更はありません。